

令和二年度 入学試験 (令和二年三月七日)

「国語総合」

戸田中央看護専門学校

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

多分どこかのアーチストが残っていた作品だと思うが、レニーンのセミナーハウスの前に大きな木の椅子が置いてある。背後は湖で、まわりに他に何もないので、遠くから見ると椅子の大きさが判断できない。人が椅子の隣に立つと不思議なことに、椅子が大きいのではなく、立っている人が小人になったように見える。

わたしはその椅子の前で写真を撮ることにした。奇妙なプロジェクトをやっている人から頼まれていたことを思い出したのだ。いろいろな建物に「ポエジー・センター」という自分で作った表札を固定して、その前で自分の入った写真を撮る。そんな写真がたくさん集まったとき、町中の建物がポエジー・センターに見えるということなのだろう。文化予算が削られ続け、文学を囲んで人が集まる場が少なくなっていくことに異議を申し立てるために、そんな試みも面白いのではないのか。軽い気持ちで(あ)シヨウダクしていた。ポエジー・センターに変身させられる建物は、場違いな建物でも面白いという話だったので、セミナーハウス敷地内の物置や喫茶店を「ポエジー・センター」に見立てて表札を固定して、友達に写真を撮ってもらったが、この大きな椅子をポエジー・センターにしまっただけでどうかと思いたち、ここでも写真を撮ってもらった。ただし表札を上手く固定することができなかったので手で持った。

ベルリンの自宅に帰ると、高校時代からの友人であるMUさんから「文学賞受賞おめでとう」というメールが来ていた。「V(夫)が、ヨーコがまた何かしかした、困ったもんだ、と言ってます。おめでとうという意味」と書いてある。読んだ(い)トタン、気持ちが悪くも明るくなった。彼女の夫Vはチェコ人で、(A)こういう種類のユーモア感覚が日本語にもあったらいいなあと思う。

言葉というのは一筋縄で(え)捌けるものではない。「おめでとう」という言葉を放ちながら、むしろ自分自身の破れた夢の苦さだけを伝えてしまう人も多い中、「また何かしかした、困ったもんだ」と言っただけで、出世第一の世の中に皮肉な(イ)眼差しを向けながらも同時に友人に曇りのない(ウ)祝辞を伝えられる人もいる。

素直に気持ちを伝えればいい、と言ってもそれが難しい。言葉は素直ではないし、そもそも言葉は心とは別の生き物で両者を(エ)繋ぐ直線は初めから存在しない。「よかったね」と「頑張ろうね」しか耳にしたことのない子供は、何も良いことなんてなくて全く頑張れない状態におかれた時、どうすればいいのだろうか。

一度発せられた言葉は、発した本人には想像もできない解釈をされることがある。そのことに傷ついて、黙ってしまう人もいる。そういう(う)ヘイガイを少しでも減らすために、

(B) 言語には「言葉通りの意味」という絶対安全な足場はないということ、それでも

(C) 言語には無限の可能性があるのだということを若い世代にもっと伝えたい。子供がテストで百点をとってきたら、親が、「次回のテストで点数があがる可能性がなくなって悲し

いね」と言つてやる。そこでもしニヤツと笑えれば、子供は言語は文字通りの意味を傳達するためにあるのではないということをし理解できたのではないか。「美人だと言われた」と娘が喜んでいたら、「あなたはそんなことで喜んでいるの?」(D)たとえブスでも、顔が美しければ同じことでしょう」と言つてやる。そうすれば、みんなが使っている(エ)ガイネンイコール現実ではないのだということが分かるのではないか。言語はべつたりもたれるための(お)カベではなく、(お)カベだと思つたものが(オ)霧であることを発見するためにあるのだから。

(多和田葉子『言葉と歩く日記』岩波書店、岩波新書、2013より)

問一、 傍線部(あ)〜(お)のカタカナを漢字に直しなさい。

【記述式解答】

- (あ) ショウダク (い) トタン (う) ヘイガイ
(え) ガイネン (お) カベ

問二、 傍線部(ア)〜(オ)の漢字の読みをひらがなで記しなさい。

【記述式解答】

- (ア) 操 (イ) 眼差 (ウ) 祝辞 (エ) 繫 (オ) 霧

問三、 傍線部(A)「こういう種類のユーモア感覚」とあるが、その説明として適当なものを次の1〜4から選びなさい。 【解答番号1】

1. 直接祝いの言葉を述べずに、とんでもないことをやらかしてしまった、と非難しながらお祝いを言う感覚
2. 直接祝いの言葉を述べずに、出世第一主義の世相を揶揄する眼差しで、それでも本心から祝福していることを伝える感覚。
3. 直接祝いの言葉を述べずに、正反対のことを言ってお祝いの気持ちを伝える感覚。
4. 直接祝いの言葉を述べずに、意地の悪い言い方で反語的に祝福する感覚。

問四、 傍線部(B)「言語には「言葉通りの意味」という絶対安全な足場はない」とあるが、筆者の意図するところを次の1〜4から選びなさい。 【解答番号2】

1. 同じ言葉でもさまざまなニュアンスを持つので、安定した足場となる言語は存在しない。
2. 言語は必ずしも「言葉通り」の意味に解釈されるとは限らず、言葉が発した人が伝えたかったことが正しく伝わるという保証はないということ。
3. 言葉は、それを発した本人が全く意図しなかった意味に解釈されることがあり、従って言語は情報伝達の確固とした手段にはなり得ないこと。

4. 言語というものは非常にあいまいなものであり、従ってコミュニケーションの手段として非常に不十分なものであること。

問五、

傍線部(C)「言語には無限の可能性があるのだ」ということを若い世代にもつと伝えたい」とあるがこの語句を最もよく説明しているものを次の1〜4から選びなさい。

【解答番号3】

1. 言語には無限の可能性があるので、そのことを若い人たちに伝え、その可能性を駆使して意志の伝達がより正しく行われるようにしたい。
2. 言語には無限の可能性があり、従ってその可能性を引き出すことが大事だということ若い世代に伝えたい。
3. 言語には、「言葉通り」の意味から少しずらした形で使う可能性が無限にあり、話し手の意図する意味が正しく伝達されるかは、その相手次第である。
4. 言語は現実とは必ずしも一致しておらず、従って現実と直面すると、言葉を現実に適合させるためにさまざまなニュアンスで使うことができることを若い人たちに伝えたい。

問六、

傍線部(D)「たとえブスでも、顔が美しければ同じことでしょう」とあるが、ここでは親は娘に対してどのようなことを伝えようとしたのだと考えられるだろうか。次の1〜4のうち、不適当なものを一つ選びなさい。

【解答番号4】

1. 美人だと言われて、あまり有頂天になつてはならないということ。
2. 「ブスであっても顔が美しい」という矛盾した表現のおかしさを分からせようとしたということ。
3. 母親もうれしいことをユーモラスな表現で伝えようとしたということ。
4. 「美人でなくても、たとえブスでも、顔が美しければ同じこと」という表現で、喜んでいる娘をからかいたいこと。

問七、

この文章の内容と合致しているものを、次の1〜4から選びなさい。

【解答番号5】

1. 友人のチェコ人の夫が著者の受賞を知り、「また何かしでかした、困ったもんだ」と言ったというので、著者は悲しくなった。
2. 「おめでとう」というお祝いの言葉とは裏腹に、自分自身の夢が破れたことを暗に伝えようとする人が多い。
3. 子供は、言葉をいつも素直に受け取るよう教育しなければならない。
4. 言葉は一筋縄では操れない。言葉と心は別のものであり、これらを直線的につなぐことはできない。

問八、著者の主張に反するものを次の1〜4から1つ選びなさい。

【解答番号6】

1. 発せられた言葉が、発した本人の思いもよらなかつた意味に取られることがある。
2. セミナーハウス敷地内の物置はポエジー・センターには不向きである。
3. 言語は必ずしも言葉通りに解釈されるとは限らないが、言語には無限の可能性があらる。
4. 言葉で自分の気持ちを素直に伝えたいと思ってもそれが難しいことが多々ある。

二、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

【高校生が自己紹介するときにはふつう、名前、性別、趣味、両親、兄弟姉妹、また外国にいるときは国籍を挙げる。このうち趣味はどうしても変えられないものではない。名前も場合によっては変更できる。しかし自分が民族としての日本人に属するという点など、自分では変えられない事柄がある。例えば日本人がフランス人と結婚して、フランス国籍になっても、民族としては日本人である。】

いろいろな例をあげてきましたが、自己紹介するときにあげるさまざまなことからいううち、自分ではどうしてもかえることができないもの、かえることがとてもむずかしいもの、あるいはあえてかえたくないものを①属性と呼びます。

いまはあえて、「日本人がフランス人と結婚して国籍がフランスとなっても、民族としては日本人」という例をあげましたが、日本に住む私たちは、ほとんどの人が「日本国籍で民族としても日本人」なので、自分の属性について考える機会があまりありません。

【しかし日本国籍を持ち、古くから日本に住んでいる人々にはアイヌも含まれる。彼らはアイヌというだけで、いわれのない差別を受けることがある。】

ではここで、「似ているけれど違うものは、全部同じだということにしよう」としてしまえば、問題は解決するのでしょうか。「アイヌもこの際、日本の同じ民族だということにしましょうよ。みんないっしょになってしまえば気にならないでしょう」ということにすれば、差別やいじめ、デマなどはなくなるのでしょうか。

へ a へ、ここには大きな問題がふたつあります。

ひとつは、「私はアイヌ」と言っている人の心の問題はどうか、ということですが。先ほども言ったように、アイヌの人たちの中には「自分は一億二千万人の日本人の中にたった二万人弱しかいないアイヌ民族なんだ」ということを、とても大切に考えている人がいます。「二億二千万人のうちの二万人」は数の上ではとても少ないので、こういう人たちを「社会的少数者（マイノリティ）」と言います。そして、たとえマイノリティであっても、彼らは「私はアイヌ」ということこそが「自分らしさ」だと誇りに思っている。この「自分らしさ」をアイデンティティと言います。「まあ、数の上ではほんの少しなんだから、アイヌも

この際、日本の大和民族の一部ということにしましょう」と決めてしまうと、この人たちのアイデンティティが破壊されることになるのです。

そしてもうひとつ、アイヌ民族を否定することは、日本全体、世界全体にとっても大きなマイナスとなります。それは、アイヌ民族の否定は先ほどから繰り返し返すように、アイヌ語の否定、アイヌ料理やアイヌの刺繍などの工芸、アイヌ音楽といったアイヌ文化の否定でもあります。それらが完全になくなってしまふのは、世界が単純なものにまた一歩近づくということにほかなりません。

「世界は単純、シンプルなほうがいいんじゃないの」と言う人もいるかもしれませんが、それは違います。

いろいろな人がこれまで知恵を出しあって、世界や地球がこの先もずっと続くにはどうすればよいかという問題を考えてきました。「持続可能な社会」といわれる問題です。

へ b へ、世界や地球がこの先も続くためには、「全部同じ」という単純さより「いろいろなものがある」という「多様性」が必要、ということがわかってきたのです。

「単純さ」はわかりやすいけれど、何かあったときにはとても弱いのです。たとえば、世界の人がみんなお米を主食にすると決めたら、どこの国に旅行に行ってもお米のごはんを食べられるので、私たち日本人にとってはとても便利な気がします。しかし、もしも「稲が枯れる植物の病」が世界中で流行したらどうなるでしょう。あつという間に私たちは食糧危機に陥って、人類は滅びるかもしれません。それを防ぐためにも、パンを食べる人、イモを食べる人などがいろいろいて、主食ひとつにしても「多様性」があったほうが、いざというときには強いのです。

文化もそれと同じで、ひとつの国にいろいろな文化やことばがあるのは、「お互いに理解が難しい」といった面倒くさい問題はあるかもしれませんが、その国の厚みを増し、何かあったときにも「これがダメなら次はこれ」という感じで選択肢を増やし、へ c へそこに住む人の心を豊かにします。実際に私も、前に述べたように北海道にいたときにアイヌ文化について多くを学ぶことはなかったのですが、それでも子ども時代、「この地は私と同じ和人だけではなく、アイヌの人たちもいるのだ。いまでもアイヌ語などの文化が大切にされているのだ」と思うだけで、心が少し広くなったような気がしました。

(香山リカ『いじめ』や「差別」をなくすためにできること』

ちくまプリマー新書、筑摩書房、2017より)

問一、 傍線部①「属性」という語について。その意味として正しいものを一つ選びなさい。

【解答番号7】

1. その人の話す言語
2. その人の苗字
3. その人の属する民族
4. その人の国籍

16 羊頭狗肉

1. 交通機関がすべて止まったので、羊頭狗肉の策として自転車で会社に行った。
2. このスマホは性能の高さに惹かれて買ったが、すぐに故障した。羊頭狗肉だ。
3. このレストランの名物料理はこだわりの羊頭狗肉ステーキだ。
4. A社の工場で起きた人身事故は、この業界での羊頭狗肉となるだろう。

問四、次の語句のカッコ内に適切な身体部分の名称を下記のリストから選んで入れなさい。

【解答番号17～20】

- 17 彼は、後ろ（ ）を引かれるような思いでこの町を去った。
- 18 猫の（ ）のような狭い土地を耕している。
- 19 彼女はいつも（ ）に衣を着せぬ、はつきりした物言いをする。
- 20 彼はどんなことが起こっても（ ）が据わっており、顔色一つ変えない。

1. 歯
2. 肝きも
3. 額
4. 髪